

令和8年度 住民交流学習「人権講座」

新温泉町文化会館では、同和問題をはじめ、あらゆる差別・人権侵害をなくし、お互いを大切にしよう
まちづくりをめざして、「人権講座」を開催しています。

町民の方はどなたでも受講いただけます。皆さんも人権について一緒に学習してみませんか？

第1回 テーマ「部落差別」 6月27日(土) 13:30～開会

★教材DVD 『部落差別まだあるの？どこにあるの？なくせるの？～奥田均～』(視聴30分)

◇講座内容

部落差別は過去の問題あるという考え方は誤りであり、現在の私たち一人ひとりの問題であることを認識する必要があります。部落差別は「ない」のではなく「見えにくい」だけなのです。部落差別が存在することを前提に「寝た子を起こすな」論の誤りについて考えなければなりません。部落差別についても同じことです。1分1秒でも早く、部落差別をなくすための行動が必要なのです。実践の場で、教育の場で、また、様々な著書を通して長年にわたり部落問題と向き合い続ける近畿大学名誉教授の奥田均さんが、豊富な体験と積み上げた研究実績をもとに語ります。

◇講話 新温泉町人権啓発指導員 日浦 智 さん



第2回 テーマ「障がい」 7月22日(水) 19:00～開会

★教材DVD 『障がい者は困っています～合理的配慮へのポイント②～』(視聴20分)

◇講座内容

様々な障がい別(発達障がい、知的障がい、精神障がい)に障がい者の実態と日常での困りごとを具体的に示しながら、主に自治体や企業、商店など、障がい者と接する機会が多い人たちはどのように対応していけば良いか、合理的配慮の観点から描かれています。合理的配慮が私たちの日常に当たり前のこととして浸透し、自然にお互いを支え合う社会の実現をめざしていくことを考えることができるDVDです。

◇講話 新温泉町人権啓発指導員 山崎 香苗 さん



第3回 テーマ「社会におけるひきこもりと人権～誰もが支え合える社会の実現をめざして」 8月26日(水) 19:00～開会

★教材DVD 『見上げれば』(視聴34分) ※令和7年度作成 兵庫県人権啓発ビデオ

◇講座内容

ひきこもりの背景や状態は人それぞれが、長期化すると社会や人に対する恐怖感が強まり、本人や家族の人生に深刻な影響を与えます。就職、再就職の難しさ、家族もどうしていいのかわからず心身が疲弊するなどその苦悩は計り知れません。さらに地域社会とのかかわりが乏しく存在が見えづらいため、家族だけで悩みを抱え込む現実があります。

このドラマでは、できるだけ早い段階で適切な支援につなげることの重要性、信頼できる他者とのつながり、寄り添ってくれる人のいる「居場所」が回復のきっかけになることを伝えています。

◇講話 新温泉町人権啓発指導員 大森 真次 さん



第4回 テーマ「同和問題」 9月16日(水) 19:00～開会

★教材DVD 『「恥ずかしい」のはどっちだ～差別する側・される側～』(視聴27分)

◇講座内容

稚拙な同和教育を批判するとき誰もが一度は口にする「タテマエ・タテジマ・タニンゴト」この言葉を創唱したのは社会学者の江嶋修作氏。

江嶋氏は40年にわたり同和教育の変革を訴え続け、意識改革の端緒を開くとともに、多くの青年たちを育てた。今、江嶋氏が提唱するのは「人権 テイク・ルート(根を張る)」。

各地に「人権の根を張って生きる」個人をつなぐ取り組みです。このDVDでは、部落差別解消推進法の施行後の今、新しい解放教育とは何かを問いかけています。

◇講話 新温泉町人権啓発指導員 田中 千尋 さん



第5回 テーマ「高齢者の人権」 10月24日(土) 13:30～開会

★教材DVD 『母の探しもの』(視聴32分)

◇講話内容

誰もが認知症に関わる可能性のある現代社会において、認知症の人が尊厳を保持しながら希望をもって暮らしていくためには、周囲の人が認知症に対する正しい知識と理解を持つことが重要です。認知症は人によって症状も様々なです。

このドラマでは、ある家族の視点を通じて症例を織り交ぜながら認知に関する理解を深め、認知症の人の不安や家族の孤独を防ぐためには、介護者や地域の交流が重要であることを示すとともに、本人の気持ちに寄り添うことの大切さを学びます。

◇講話 新温泉町人権啓発指導員 川崎 一夫 さん



会場はすべての回、「新温泉町文化会館」で実施します